



System i

プログラミング

System i Access for Web コマンド

バージョン 6 リリース 1





System i

プログラミング

System i Access for Web コマンド

バージョン 6 リリース 1

ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、37 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM System i Access for Web (プロダクト番号 5761-XH2) のバージョン 6、リリース 1、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System i
Programming
System i Access for Web commands
Version 6 Release 1

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2008.2

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2008. All rights reserved.

目次

ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)	1	ACCESS FOR WEBの開始 (STRACCWEB2).	31
ACCESS FOR WEBの終了 (ENDACCWEB2).	15	付録. 特記事項.	37
ACCESS FOR WEBの除去 (RMVACCWEB2)	21		

ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

System i Access for Web構成(CFGACCWEB2)コマンドは、以下のWebサービス環境のSystem i Access for Webを構成するために使用されます。

- IBM WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- IBM WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- IBM WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- 統合Webアプリケーション・サーバー
- IBM WebSphere Portal V5.1
- IBM WebSphere Portal V6.0

ご使用のWebサービス環境が上にリストされていない場合は、System i Access for Web InfoCenter情報 (<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)を参照してください。

System i Access for Webは、使用する前に、このコマンドを使用して構成されていなければなりません。

入力パラメーターは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定した値に基づいた条件付きです。

このコマンドは、入力構成パラメーターを使用して、System i Access for Webサブレットまたはポートレット構成情報をWEBアプリケーション・サーバーに追加します。

複数のWebアプリケーション・サーバーが構成されていて、システムで稼働している場合は、System i Access for WebはそれらのWebアプリケーション・サーバーのそれぞれで実行するために構成することができます。

System i Access for Webを複数のWebアプリケーション・サーバーに構成する場合は、既存の構成を基にして新規構成を作成することができます。新規構成はユーザーが生成したデータを他の構成と共用することができます、また、既存のユーザー・データのコピーを新規構成用に作成することができます。

このコマンドは、ユーザーが生成したデータ用のディレクトリー構造を作成します。ユーザー・データは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定された値に応じて次の場所に保管されます。

- *WAS60 - /QIBM/UserData/Access/Web2/was60/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS60ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/was60nd/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS61BASE - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61base/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS61EXP - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61exp/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>

- *WAS61ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61nd/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>
- *INTAPPSVR - /QIBM/UserData/Access/Web2/intappsrv
- *WP51 - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp51/<instance_name>
- *WP60 - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp60/<profile_name>
- *WP60ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp60nd/<profile_name>

コマンドの実行時、どのコマンドを処理中かを示す状況情報が表示されます。このコマンドを実行すると、詳細状況およびエラー情報がストリーム・ファイル/QIBM/USERDATA/ACCESS/WEB2/LOGS/CMD5.LOGにも記録されます。

このコマンドの完了後に、WEBアプリケーション・サーバーの終了と再始動が必要になることがあります。System i Access for Web構成をアクセスする前に、これを開始する必要があります。

制約事項:

- このコマンドを実行するには、すべてのオブジェクト(*ALLOBJ)特殊権限がなければなりません。
- WEBSphere APPLICATION SERVERに特定の制約事項:
 - このコマンドの実行後に、WebSphere Application Serverのアプリケーション・サーバーを終了して、再始動する必要があります。
 - このコマンドを実行するためには、WebSphere Application Serverサブシステムが稼働していなければなりません。WebSphereサブシステムの始動については、WebSphereの資料を参照してください。
 - WebSphereプロファイル内に構成されたアプリケーション・サーバーは、このコマンドを実行する前に稼働させる必要があります。
 - IBM WebSphere Application Server Network Deploymentによって管理されるWebSphere Application Serverプロファイルは、System i Access for Webによってサポートされません。
- WebSphere Portalに特定の制約事項:
 - WebSphere Portalは、WebSphereインスタンスまたはプロファイルに配置されていなければなりません。
 - このコマンドの実行の前に、WebSphere Portalを実行する必要があります。このコマンドはWebSphere Portal構成サブレットを呼び出して、WebSphere Portal for System i Access for Webに対して構成変更を実行する必要があります。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
APPSVRTYPE	WEB アプリケーション・サーバー・タイプ	文字値	必須, 定位置 1
WASINST	WEBサーバー・インスタンス名	文字値, *DEFAULT	オプション
WASPRF	WEBサーバー・プロファイル名	文字値, *DEFAULT	オプション
APPSVR	アプリケーション・サーバー名	文字値, *DEFAULT	オプション
WASINSDIR	WebSphere導入ディレクトリー	パス名, *DEFAULT	オプション
TGTSVR	ターゲット・サーバー	文字値, *DEFAULT	オプション
AUTHTYPE	認証タイプ	*APP, *APPSVR	オプション

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
AUTHMETHOD	認証方式	<u>*FORM</u> , *BASIC, *KERBEROS	オプション
WPUSRID	WEBSphere PORTALユーザーID	文字値	オプション
WPPWD	WEBSphere PORTALパスワード	文字値	オプション
WPURL	WEBSphere PORTAL構成URL	文字値	オプション
WPDFTPAG	WEBSphere PORTAL省略時ページ	<u>*CREATE</u> , *NOCREATE	オプション
WASUSRID	WEBSphereユーザーID	文字値, <u>*NONE</u>	オプション
WASPWD	WEBSphereパスワード	文字値, <u>*NONE</u>	オプション
SRCSVRTYPE	ソースWEBサーバー・タイプ	文字値	オプション
SRCVRINST	ソース WEB サーバー・インスタンス	文字値, <u>*DEFAULT</u> , *WASINST, *WASPRF	オプション
SRCAPPSVR	ソース・アプリケーションSVR	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
SRCINSDIR	ソース導入ディレクトリー	パス名, <u>*DEFAULT</u>	オプション
SHRUSRDTA	ユーザー・データの共用	*NO, *YES	オプション

上

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)

実行するSystem i Access for Webを構成するのはどのWEBアプリケーション・サーバーかを指定します。

これは必須パラメーターです。

*WAS60

WEBSphere APPLICATION SERVER V6.0 FOR OS/400 (BASEおよびEXPRESS)

*WAS60ND

WEBSphere APPLICATION SERVER NETWORK DEPLOYMENT V6.0 FOR OS/400

*WAS61BASE

WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS

*WAS61EXP

WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

*WAS61ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

*INTAPPSVR

統合Webアプリケーション・サーバー

*WP51

WebSphere Portal V5.1

*WP60

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400 (基本版) で稼働するWebSphere Portal V6.0

*WP60ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400で稼働するWebSphere Portal V6.0

上

WEBサーバー・インスタンス名 (WASINST)

WebSphere Portalが内部で稼働するように構成されているWebSphereインスタンスを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WP51 - WebSphere Portal V5.1

***DEFAULT**

IBM WebSphere Application Serverを導入すると、省略時インスタンスはWebSphereで自動的に作成されます。

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは(WebSphere Portalが稼働している) 省略時WebSphereインスタンス内で構成されます。

名前 System i Access for Webを実行するために構成するWebSphereインスタンスの名前を指定します。

上

WEBサーバー・プロファイル名 (WASPRF)

System i Access for Webを実行するためにどのIBM WebSphere Application Serverプロファイルを構成するかを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- *WP60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400 (基本版) で稼働するWebSphere Portal V6.0
- *WP60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400で稼働するWebSphere Portal V6.0

***DEFAULT**

IBM WEBSHERE APPLICATION SERVERを導入すると、省略時プロファイルはWEBSHEREで自動的に作成されます。

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは省略時WebSphereプロファイル内で構成されます。

名前 System i Access for Webを実行するために構成するWebSphereプロファイルの名前を指定します。

上

アプリケーション・サーバー名 (APPSVR)

System i Access for Webを構成する、その宛先の既存のアプリケーション・サーバーを指定します。

WebSphereプロファイルには1つ以上のアプリケーション・サーバーを入れることができます。アプリケーション・サーバーは、配置されたWEBアプリケーションを実行する環境を提供します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWebアプリケーション・サーバーの1つにSystem i Access for Webを構成するために設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

WASPRFパラメーターに*DEFAULTが設定された場合、この値は'server1'に設定されます。

WASPRFパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された時には、この値は、WASPRFパラメーターに指定された値に設定されます。

名前 構成されるWebSphereプロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

上

WebSphere導入ディレクトリー (WASINSDIR)

WebSphere Application Serverが導入されている、i5/OS統合ファイル・システムのディレクトリーを指定します。

統合ファイル・システムの複数の場所に、より新しいバージョンのWebSphere Application Serverが導入されている場合があります。この値は、どのWebSphere Application Server導入済み環境を構成するかをSystem i Access for Webに指示します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、使用されるパスは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定されている値に基づきます。

- *WAS61BASE - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Base
- *WAS61EXP - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Express
- *WAS61ND - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/ND

パス名 WebSphere Application Serverの導入パスを指定します。

上

ターゲット・サーバー (TGTSVR)

System i Access for Webが接続するシステムを指定します。

このパラメーターによってSystem i Access for Webを中央システムとして構成し、ネットワーク内の他のシステムにアクセスできるゲートウェイのような機能を提供することができます。

WebSphere Application ServerおよびSystem i Access for WebなどのWebアプリケーション・サーバーは、このパラメーターに指定されたシステムに導入または構成する必要がないことがあります。

System i Access Family製品(5761-XW1)が、このパラメーターで指定されたシステムに導入され、正しくライセンス交付を受けている必要があります。

***DEFAULT**

System i Access for Webは、それが導入されたシステムに接続して、そこからデータのサービスを受けます。

名前 System i Access for Webにデータへのアクセスを実行させたい、受動システムの完全修飾ドメイン名を指定します。ドメイン名は、受動システムのTCP/IP構成情報にアクセスして判別することができます。

上

認証タイプ (AUTHTYPE)

アプリケーションまたはアプリケーション・サーバーがユーザーを認証するかどうかを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***APP** System i Access for Webは、ユーザー・プロファイルおよびパスワードを使用してi5/OSで認証します。

このオプションは、HTTP基本認証を使用して、ユーザー・プロファイルおよびパスワードのプロンプトを出します。送信中に認証情報を保護するには、HTTPS（機密保護HTTP）を使用します。

***APPSVR**

WebSphere Application Serverが、活動ユーザー・レジストリーで認証します。System i Access for Webは、エンタープライズ識別マッピング(EIM)を使用して、認証済みWebSphereユーザーIDをi5/OSユーザーIDにマップします。

このオプションによって、System i Access for WebがWebSphereシングル・サインオン(SSO)環境に加わることができるようになります。

このオプションでは、構成されているWebSphere Application Serverプロファイルのグローバル機密保護が使用可能である必要があります。

その他の要件は、指定されたAUTHMETHODの値に基づきます。

詳細については、System i Access for Web InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)を参照してください。

上

認証方式 (AUTHMETHOD)

ユーザーを識別するのにアプリケーション・サーバーによって使用されるメソッドを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、AUTHTYPEパラメーターが*APPSVRの値に設定されている場合だけです。

***FORM**

このメソッドは、HTMLフォームを使用してWebSphereユーザーIDおよびパスワードのプロンプトを出します。情報は、平文で送信されます。送信中に認証情報を保護するには、HTTPS（機密保護HTTP）を使用します。

このオプションでは、構成されているWebSphere Application ServerプロファイルにEIM Identity Token Connectorが導入されている必要があります。

***BASIC**

このメソッドは、HTTP基本認証を使用して、WebSphereユーザー・プロファイルおよびパスワードのプロンプトを出します。送信中に認証情報を保護するには、HTTPS（機密保護HTTP）を使用します。

このオプションでは、構成されているWebSphere Application ServerプロファイルにEIM Identity Token Connectorが導入されている必要があります。

***KERBEROS**

このメソッドは統合Windows認証を使用し、Windowsドメイン・ログイン情報を使用できるようにします。送信中に認証情報を保護するには、HTTPS（機密保護HTTP）を使用します。

このオプションでは、HTTP要求を安全に折衝および認証するため、Simple and Protected GSS-API Negotiation Mechanism (SPNEGO)を使用するWebSphere Application Server トラスト・アソシエーション・インターセプター(TAI)が必要です。

詳細については、System i Access for Web InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)を参照してください。

上

WEBSPHERE PORTALユーザーID (WPUSRID)

WebSphere Portal 内でSystem i Access for Webを構成するために使用するIBM WebSphere Portal管理ユーザーIDを指定します。

WEBSPHERE PORTAL構成に対する変更では、変更を行なうためにユーザーIDの指定が必要です。これは、管理者レベルの機能を実行するためにWEBSPHERE PORTALユーザー・インターフェースへのログインに使用されるのと同じ管理者レベルのユーザーIDです。

この値は、HTTP接続を使用して暗号化されずにシステムに送信されます。接続を認めることができない場合には、このコマンドは保護されたイントラネット環境内でのみ実行しなければなりません。

System i Access for Web for WebSphere Portalを構成するときには、パラメーター値が必要です。

文字値 管理ユーザーIDを指定します。

上

WEBSPHERE PORTALパスワード (WPPWD)

WPUSRIDパラメーターに指定されたIBM WEBSPHERE PORTAL管理ユーザーIDのパスワードを指定します。

この値は、HTTP接続を使用して暗号化されずにシステムに送信されます。接続を認めることができない場合には、このコマンドは保護されたイントラネット環境内でのみ実行しなければなりません。

System i Access for Web for WebSphere Portalを構成するときには、パラメーター値が必要です。

文字値 IBM WEBSPHERE PORTAL管理ユーザーのパスワードを指定します。

上

WEBSPHERE PORTAL構成URL (WPURL)

WEBSPHERE PORTAL構成サブレットにアクセスするためのUNIVERSAL RESOURCE LOCATOR (URL)を指定します。このサブレットは、必要なSystem i Access for Web構成情報をWebSphere Portalに追加します。

このURLは次の要素により構成されています。

- ポータル・ホスト名。
- WEBSPHERE PORTAL導入中に指定した（省略時の値は'/WPS'です）ポータルの基本UNIVERSAL RESOURCE IDENTIFIER (URI)。
- サブレット拡張子は'/CONFIG'。

この値は、例えば'system_name.your_company.com/wps/config'です。

System i Access for Web for WebSphere Portalを構成するときには、パラメーター値が必要です。

文字値 WEBSPHERE PORTAL構成サブレットにアクセスするためのURLを指定します。

上

WEBSPHERE PORTAL省略時ページ (WPDFTPAG)

WebSphere Portalの省略時値の構成時に、WebSphere Portalページを作成し、System i Access for Webポートレットを取り込むことができます。

***CREATE**

複数のサブページを含む省略時のSystem i Access for Web WebSphere Portalページを作成します。

サブページは、System i Access for Webポートレットを取り込むこととなります。

***NOCREATE**

省略時System i Access for Web WebSphere Portalページは作成されず、System i Access for WebポートレットはWebSphere Portalページに展開されません。

WEBSPHEREユーザーID (WASUSRID)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

WEBSPHEREパスワード (WASPWD)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDのパスワードを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

ソースWEBサーバー・タイプ (SRCSVRTYPE)

System i Access for Webを実行するために構成された既存のWebアプリケーション・サーバーを指定します。新規のSystem i Access for Webの構成は、既存のSystem i Access for Web構成を基にして作成されます。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターがWebSphere Portalのバージョンに設定された場合、このパラメーターは適用されずに無視されます。

***NONE**

新規のSystem i Access for Web構成は、既存のSystem i Access for Web構成に基づいていません。

***WAS50**

WebSphere Application Server V5.0 for iSeries

***WAS50EXP**

WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries

***WAS51**

WebSphere Application Server V5.1 for iSeries

***WAS51EXP**

WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries

***WAS60**

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400

***WAS60ND**

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400

***WAS61BASE**

WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS

***WAS61EXP**

WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

***WAS61ND**

WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***INTAPPSVR**

統合Webアプリケーション・サーバー

***ASFTOMCAT**

Apache Software Foundation (ASF) Tomcat

上

ソース WEB サーバー・インスタンス (SRCSVRINST)

このパラメーターは、System i Access for Webがすでに構成されているWebSphereインスタンス/プロファイルの名前またはASF Tomcatサーバー名を指定します。

System i Access for Webの新規の構成は、既存の構成に基づきます。

このパラメーターで指定されたWEBSHEREインスタンス/プロファイル名またはASF TOMCATサーバー名は、**ソースWEBサーバー・タイプ (SRCSVRTYPE)**パラメーターに指定されたWEBアプリケーション・サーバー内で構成されなければなりません。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターがWebSphere Portalのバージョンに設定された場合、このパラメーターは適用されずに無視されます。

***DEFAULT**

WEBアプリケーション・サーバーが導入されている時には、省略時インスタンス/プロファイルが自動的に作成されている可能性があります。*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは'default'と呼ばれるインスタンス/プロファイルに基づいて構成されます。

***WASPRF**

*WASPRFを指定すると、WASPRFパラメーターで指定された値が使用されます。

名前 System i Access for Webを実行するためにすでに構成されたWebSphereインスタンス/プロファイルまたはASF Tomcatサーバーの名前を指定します。

上

ソース・アプリケーションSVR (SRCAPPSVR)

アプリケーション・サーバーは、配置されたWEBアプリケーションを実行する環境を提供します。このパラメーターは、System i Access for Webがすでに構成されているWebSphereインスタンス/プロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

System i Access for Webの新規の構成は、既存の構成に基づきます。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターがWebSphere Portalのバージョンに設定されておらず、**ソースWEBサーバー・タイプ (SRCSVRTYPE)**パラメーターが以下のWebアプリケーション・サーバーのいずれかに設定される場合だけです。

- *WAS50 - WebSphere Application Server V5.0 for iSeries
- *WAS50EXP - WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries
- *WAS51 - WebSphere Application Server V5.1 for iSeries
- *WAS51EXP - WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries
- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

SRCSVRTYPEパラメーターに*WAS50/*WAS51/*WAS60/*WAS60ND/*WAS61BASE/*WAS61EXP/*WAS61NDが設定された場合、次が適用されます。

- このパラメーターに*DEFAULTが設定されて、SRCSVRINSTパラメーターに*DEFAULTが設定された場合には、このパラメーターは'SERVER1'に設定されます。
- このパラメーターに*DEFAULTが設定されて、SRCSVRINSTパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された場合、このパラメーターはSRCSVRINSTパラメーターに指定された値に設定されます。

SRCSVRTYPEパラメーターに*WAS50EXP/*WAS51EXPが設定された場合、次が適用されます。

- このパラメーターに*DEFAULTが設定されて、SRCSVRINSTパラメーターに*DEFAULTが設定された場合には、このパラメーターは'DEFAULT'に設定されます。
- このパラメーターに*DEFAULTが設定されて、SRCSVRINSTパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された場合、このパラメーターはSRCSVRINSTパラメーターに指定された値に設定されます。

名前 新規構成のベースになるWEBSphereインスタンス/プロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

上

ソース導入ディレクトリー (SRCINSDIR)

WebSphere Application Serverのバージョンが、System i Access for Webを実行するよう、すでに構成されています。このパラメーターは、そのバージョンのWebSphere Application Serverが導入された、i5/OS 統合ファイル・システムのディレクトリーを指定します。

統合ファイル・システムの複数の場所に、より新しいバージョンのWebSphere Application Serverが導入されている場合があります。この値は、どのWebSphere Application Server導入済み環境がSystem i Access for Webを実行するよう構成されているかを、System i Access for Webに指示します。

このパラメーターが適用されるのは、**ソースWEBサーバー・タイプ (SRCSVRTYPE)**パラメーターが次のWebアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、使用されるパスは、**ソースWEBサーバー・タイプ (SRCSVRTYPE)**パラメーターに指定されている値に基づきます。

- *WAS61BASE - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Base
- *WAS61EXP - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Express
- *WAS61ND - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/ND

パス名 WebSphere Application Serverの導入パスを指定します。

上

ユーザー・データの共用 (SHRUSRDTA)

既存のSystem i Access for Web構成に基づく構成の場合、このパラメーターは、新規構成は、ユーザー生成データを既存の構成と共用するかどうかを指定します。

SRCSVRTYPEパラメーターに*NONE以外の値を指定した時には、パラメーター値が必要です。

***NO** 新規構成は、既存構成のユーザー生成データのコピーにより開始されます。

***YES** 新規構成は、ユーザー生成データを既存の構成と共用します。

上

例

例1: WebSphere Application Server V6.0 for OS/400の構成

```
CFGACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS60) WASPRF(iwa60)
           APPSVR(iwa60)
```

このコマンドは、iwa60という名前のユーザー作成WebSphereプロファイルのSystem i Access for Webを構成します。このプロファイルには、iwa60という名前のアプリケーション・サーバーが含まれます。

例2: WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OSの構成

```
CFGACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61EXP) WASPRF(iwa61exp)
           APPSVR(iwa61exp)
           SRCSVRTYPE(*WAS60) SRCSVRINST(iwa60)
           SRCAPPSVR(iwa60) SHRUSRDTA(*NO)
```

このコマンドは、iwa61expという名前のユーザー作成WebSphereプロファイルのSystem i Access for Webを構成します。このプロファイルには、iwa61expという名前のアプリケーション・サーバーが含まれます。また、この例は、この新規構成が前の例で実行された構成を基本にしていることを示します。ユーザー生成データは、ソース構成からこの新規の構成にコピーされます。

例3: WebSphere Portalの構成

```
CFGACCWEB2 APPSVRTYPE(*WP60) WASPRF(iwawps60)
           WPUSRID(wpsadmin) WPPWD(wpspassword)
           WPURL('mysystem.mydomain.com/wps/config')
           WPDFTPAG(*CREATE)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server V6.0 for OS/400（基本版）で稼働するWebSphere Portal V6.0のSystem i Access for Webを構成します。WebSphere Portalは、iwawps60という名前のWebSphereプロファイルで構成されています。この例では、WebSphere Portal管理者ユーザーIDおよびパスワード、URLをポータル構成サブレットに入力し、省略時System i Access for Web WebSphere Portalページを作成し、そのページにポートレットを取り込むコマンドを通知します。

例4: WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OSの構成

```
CFGACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61ND) WASPRF(iwa61nd)
           APPSVR(iwa61nd)
           SRCSVRTYPE(*ASF TOMCAT) SRCSVRINST(IWATOMCAT)
           SHRUSRDTA(*NO)
```

このコマンドは、iwa61ndという名前のユーザー作成WebSphere Network DeploymentプロファイルのSystem i Access for Webを構成します。このプロファイルには、iwa61ndという名前のアプリケーション・サーバーが含まれます。このプロファイルは、Network Deployment環境に統合されていません。この例は、この新規構成が既存のASF Tomcat構成に基づいていることも示しています。ユーザー生成データは、ソース構成からこの新規の構成にコピーされます。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

IAW0001

System i Access for Web構成コマンドが失敗しました。

IAW000A

SHRUSRDTAパラメーターが必須です。

IAW000B

パラメーターAPPSVRTYPEに指定された値が無効です。

IAW000C

パラメーターSRCSVRTYPEに指定された値が無効です。

IAW0011

WPUSRID, WPPWD,およびWPURLパラメーターは必須です。

上

ACCESS FOR WEBの終了 (ENDACCWEB2)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

System i Access for Web終了(ENDACCWEB2)コマンドは、Webアプリケーション・サーバーのIBM WebSphere Application Server内で実行中のSystem i Access for Web構成を終了または停止するために使用されます。

このコマンドは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドを使用して定義された実行中の構成を終了します。

コマンドの実行時、どのコマンドを処理中かを示す状況情報が表示されます。また、このコマンドを実行すると、詳細状況情報およびエラー情報がストリーム・ファイル/QIBM/USERDATA/ACCESS/WEB2/LOGS/CMDS.LOGにも記録されます。

また、System i Access for Web構成は、Webアプリケーション・サーバーの管理インターフェースを使用して終了(停止)することもできます。

制約事項:

- このコマンドを実行するには、すべてのオブジェクト(*ALLOBJ)特殊権限がなければなりません。
- このコマンドの実行前に、CFGACCWEB2コマンドを使用してSystem i Access for Webを構成しなければなりません。
- このコマンドが使用可能なのは、以下のWEBアプリケーション・サーバーの場合だけです。
 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
 - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
 - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
 - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
 - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- WEBSPPHERE APPLICATION SERVERに特定の制約事項:
 - このコマンドを実行するためには、WebSphere Application Serverサブシステムが稼働していなければなりません。WebSphereサブシステムの始動については、WebSphereの資料を参照してください。
 - WebSphereプロファイル内に構成されたアプリケーション・サーバーは、このコマンドを実行する前に稼働させる必要があります。
- System i Access for Web構成を終了するには、次のWebアプリケーション・サーバーの管理インターフェースを使用する必要があります。
 - WEBSPPHERE PORTAL

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
APPSVRTYPE	WEB アプリケーション・サーバー・タイプ	文字値	必須, 定位置 1
WASPRF	WEBサーバー・プロファイル名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
APPSVR	アプリケーション・サーバー名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASINSDIR	WebSphere導入ディレクトリー	パス名, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASUSRID	WEBSPPHEREユーザーID	文字値, <u>*NONE</u>	オプション
WASPWD	WEBSPPHEREパスワード	文字値, <u>*NONE</u>	オプション

トップ

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)

終了するSystem i Access for Web構成が入っているWebアプリケーション・サーバーを指定します。

これは必須パラメーターです。

*WAS60

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400

*WAS60ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400

*WAS61BASE

WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS

*WAS61EXP

WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

*WAS61ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

トップ

WEBサーバー・プロファイル名 (WASPRF)

終了するSystem i Access for Web構成が入っているIBM WebSphere Application Serverプロファイルを指定します。

*DEFAULT

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは'default'と呼ばれるプロファイル内で終了されます。

名前 終了するSystem i Access for Web構成が入っているWebSphereプロファイルの名前を指定します。これは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドの実行時に使用されたのと同じプロファイル名です。

アプリケーション・サーバー名 (APPSVR)

System i Access for Webが構成済みの、終了したい既存のアプリケーション・サーバーを指定します。

WebSphereプロファイルには1つ以上のアプリケーション・サーバーを入れることができます。アプリケーション・サーバーは、配置されたWEBアプリケーションを実行する環境を提供します。

***DEFAULT**

WASPRFパラメーターに*DEFAULTが設定された場合、この値は'server1'に設定されます。

WASPRFパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された時には、この値は、WASPRFパラメーターに指定された値に設定されます。

名前 System i Access for Webが終了されるWebSphereインスタンス/プロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

トップ

WebSphere導入ディレクトリー (WASINSDIR)

WebSphere Application Serverのバージョンが、System i Access for Webを実行するように構成されています。このパラメーターは、そのバージョンのWebSphere Application Serverが導入された、i5/OS 統合ファイル・システムのディレクトリーを指定します。

統合ファイル・システムの複数の場所に、より新しいバージョンのWebSphere Application Serverが導入されている場合があります。この値は、どのWebSphere Application Server導入済み環境がSystem i Access for Webを実行するよう構成されたかを、System i Access for Webに指示します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、使用されるパスは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定されている値に基づきます。

- *WAS61BASE - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Base
- *WAS61EXP - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Express
- *WAS61ND - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/ND

パス名 WebSphere Application Serverの導入パスを指定します。

トップ

WEBSPHEREユーザーID (WASUSRID)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

トップ

WEBSPHEREパスワード (WASPWD)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDのパスワードを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

トップ

例

例1: System i Access for Web for WebSphere Application Server V6.0 for OS/400の終了

```
ENDACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS60) WASPRF(iwa60)
           APPSVR(iwa60)
```


このコマンドは、WebSphere Application Server V6.0 for OS/400内のSystem i Access for Web構成を終了します。この例では、ユーザー作成プロファイルiwa60内の構成が終了されます。

例2: WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OSでのSystem i Access for Webの終了

```
ENDACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61EXP) WASPRF(iwa61exp)
           APPSVR(iwa61exp)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS内のSystem i Access for Web構成を終了します。この例では、ユーザー作成プロファイルiwa61exp内の構成が終了されます。

[トップ](#)

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

IAW0003

System i Access for Web終了コマンドが失敗しました。

IAW000B

パラメーターAPPSVRTYPEに指定された値が無効です。

[トップ](#)

ACCESS FOR WEBの除去 (RMVACCWEB2)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

System i Access for Web除去(RMVACCWEB2)コマンドは、Webアプリケーション・サーバーからSystem i Access for Web構成を除去するために使用されます。

- IBM WebSphere Application Server V5.0 for iSeries
- IBM WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries
- IBM WebSphere Application Server V5.1 for iSeries
- IBM WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries
- IBM WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- IBM WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- IBM WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- 統合Webアプリケーション・サーバー
- IBM WebSphere Portal V5.0
- IBM WebSphere Portal V5.1
- IBM WebSphere Portal V6.0
- IBM Workplace Services Express
- Apache Software Foundation (ASF) Tomcat

このコマンドは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドを使用して定義された構成を除去します。

このコマンドは、System i Access for Webをシステムから削除するわけではありません。System i Access for Web構成をWebアプリケーション・サーバーから除去するだけです。

このコマンドは、System i Access for Webを使用中に生成されたユーザー・データを削除しません。ユーザー・データは、CFGACCWEB2コマンドを使用して構成が定義された時に、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定した値に基づいて、次の場所書き込まれています。

- *WAS50 - /QIBM/UserData/Access/Web2/was50base/<instance_name>/<application_server_name>
- *WAS50EXP - /QIBM/UserData/Access/Web2/was50exp/<instance_name>/<application_server_name>
- *WAS51 - /QIBM/UserData/Access/Web2/was51base/<instance_name>/<application_server_name>
- *WAS51EXP - /QIBM/UserData/Access/Web2/was51exp/<instance_name>/<application_server_name>
- *WAS60 - /QIBM/UserData/Access/Web2/was60/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS60ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/was60nd/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS61BASE - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61base/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>

- *WAS61EXP - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61exp/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>
- *WAS61ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/was61nd/<library_name>/<profile_name>/<application_server_name>
- *INTAPPSVR - /QIBM/UserData/Access/Web2/intappsrv
- *WP50 - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp50/<instance_name>
- *WP51 - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp51/<instance_name>
- *WP60 - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp60/<profile_name>
- *WP60ND - /QIBM/UserData/Access/Web2/wp60nd/<profile_name>
- *WSE - /QIBM/UserData/Access/Web2/wse/<instance_name>
- *ASFTOMCAT - /QIBM/UserData/Access/Web2/asftomcat/<server_name>

コマンドの実行時、どのコマンドを処理中かを示す状況情報が表示されます。このコマンドを実行すると、詳細状況およびエラー情報がストリーム・ファイル/QIBM/USERDATA/ACCESS/WEB2/LOGS/CMD5.LOGにも記録されます。

System i Access for Web構成は、Webアプリケーション・サーバーの管理インターフェースを使用して除去することもできます。これはお勧めしません。RMVACCWEB2コマンドは、WEBアプリケーション・サーバーの管理インターフェースがクリーンアップしない内部構成情報をクリーンアップします。

制約事項:

- このコマンドを実行するには、すべてのオブジェクト(*ALLOBJ)特殊権限がなければなりません。
- このコマンドの実行前に、CFGACCWEB2コマンドを使用してSystem i Access for Webを構成しなければなりません。
- WEBSHERE APPLICATION SERVERに特定の制約事項:
 - このコマンドの実行後に、WebSphere Application Serverのアプリケーション・サーバーを終了して、再始動する必要があります。
 - このコマンドを実行するためには、WebSphere Application Serverサブシステムが稼働していなければなりません。WebSphereサブシステムの始動については、WebSphereの資料を参照してください。
 - WEBSHEREインスタンス/プロファイル内に構成されたアプリケーション・サーバーは、このコマンドを実行する前に稼働させる必要があります。
- WebSphere PortalおよびWorkplace Services Express (WSE)に特定の制限:
 - このコマンドの実行の前に、WebSphere Portalを実行する必要があります。このコマンドはPortalサーブレットを呼び出して、WebSphere Portal for System i Access for Webに対して構成変更を実行する必要があります。
- ASF TOMCATに固有の制約事項:
 - RMVACCWEB2コマンドが完了した後で、ASF TOMCATサーバーを終了して再始動しなければなりません。これによって、メモリーにロードされている可能性があるSystem i Access for Web構成情報が除去されることとなります。ASF Tomcatサーバーを終了するには、WEBベースのIBM Web Administration for i5/OSインターフェースで使用可能なASF Tomcat管理機能を使用してください。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
APPSVRTYPE	WEB アプリケーション・サーバー・タイプ	文字値	必須, 定位置 1
WASINST	WEBサーバー・インスタンス名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASPRF	WEBサーバー・プロファイル名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
APPSVR	アプリケーション・サーバー名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
TCSVRNAME	TOMCATサーバー名	文字値	オプション
WPUSRID	WEBSPPHERE PORTALユーザーID	文字値	オプション
WPPWD	WEBSPPHERE PORTALパスワード	文字値	オプション
WPURL	WEBSPPHERE PORTAL構成URL	文字値	オプション
WPDFTPAG	WEBSPPHERE PORTAL省略時ページ	<u>*DELETE</u> , <u>*NODELETE</u>	オプション
WASINSDIR	WebSphere導入ディレクトリー	パス名, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASUSRID	WEBSPPHEREユーザーID	文字値, <u>*NONE</u>	オプション
WASPWD	WEBSPPHEREパスワード	文字値, <u>*NONE</u>	オプション

上

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)

除去するSystem i Access for Web構成が入っているWebアプリケーション・サーバーを指定します。

これは必須パラメーターです。

*WAS50

WebSphere Application Server V5.0 for iSeries

*WAS50EXP

WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries

*WAS51

WebSphere Application Server V5.1 for iSeries

*WAS51EXP

WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries

*WAS60

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400

*WAS60ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400

*WAS61BASE

WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS

*WAS61EXP

WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

*WAS61ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

*INTAPPSVR

統合Webアプリケーション・サーバー

***WP50**

WebSphere Portal V5.0

***WP51**

WebSphere Portal V5.1

***WP60**

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400 (基本版) で稼働するWebSphere Portal V6.0

***WP60ND**

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400で稼働するWebSphere Portal V6.0

***WSE** Workplace Services Express

***ASFTOMCAT**

Apache Software Foundation (ASF) Tomcat

上

WEBサーバー・インスタンス名 (WASINST)

除去するSystem i Access for Web構成が入っているIBM WebSphere Application Serverインスタンスを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS50 - WebSphere Application Server V5.0 for iSeries
- *WAS50EXP - WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries
- *WAS51 - WebSphere Application Server V5.1 for iSeries
- *WAS51EXP - WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries
- *WP50 - WebSphere Portal V5.0
- *WP51 - WebSphere Portal V5.1
- *WSE - Workplace Services Express

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターを*WP50/*WP51/*WSEに設定する時には、このパラメーターは、内部で実行するためにWebSphere Portalが構成されているWebSphereインスタンスです。

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは'default'と呼ばれるインスタンスから除去されます。

名前 除去するSystem i Access for Web構成が入っているWebSphereインスタンスの名前を指定します。これは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドの実行時に使用されたのと同じインスタンス名です。

上

WEBサーバー・プロファイル名 (WASPRF)

除去するSystem i Access for Web構成が入っているIBM WebSphere Application Serverプロファイルを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- *WP60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400 (基本版) で稼働するWebSphere Portal V6.0
- *WP60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400で稼働するWebSphere Portal V6.0

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは'default'と呼ばれるプロファイルから除去されます。

名前 除去するSystem i Access for Web構成が入っているWebSphereプロファイルの名前を指定します。これは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドの実行時に使用されたのと同じプロファイル名です。

上

アプリケーション・サーバー名 (APPSVR)

System i Access for Webが構成済みの、除去したい既存のアプリケーション・サーバーを指定します。

WEBSHEREインスタンス/プロファイルには1つ以上のアプリケーション・サーバーを含めることができます。アプリケーション・サーバーは、配置されたWEBアプリケーションを実行する環境を提供します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWebアプリケーション・サーバーの1つからSystem i Access for Webを除去するために設定される場合だけです。

- *WAS50 - WebSphere Application Server V5.0 for iSeries
- *WAS50EXP - WebSphere Application Server V5.0 - Express for iSeries
- *WAS51 - WebSphere Application Server V5.1 for iSeries
- *WAS51EXP - WebSphere Application Server V5.1 - Express for iSeries
- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

APPSVRTYPEパラメーターに*WAS50/*WAS51/*WAS60/*WAS60ND/*WAS61BASE/*WAS61EXP/*WAS61INDが設定された場合、次が適用されます。

- WASINST/WASPRFパラメーターに*DEFAULTが設定された場合、この値は'SERVER1'に設定されます。
- WASINST/WASPRFパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された場合、この値は、WASINST/WASPRFパラメーターに指定された値に設定されます。

APPSVRTYPEパラメーターに*WAS50EXP/*WAS51EXPが設定された場合、次が適用されます。

- WASINSTパラメーターに*DEFAULTが設定された場合、この値は'DEFAULT'に設定されます。
- WASINSTパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された時には、この値は、WASINSTパラメーターに指定された値に設定されます。

名前 System i Access for Webが除去されるWebSphereインスタンス/プロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

上

TOMCATサーバー名 (TCSVRNAME)

このパラメーターは、除去するSystem i Access for Web構成が入っているApache Software Foundation (ASF) Tomcatサーバーの名前を指定します。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターに*ASFTOMCATを指定した時には、パラメーター値が必要です。

名前 既存のASF TOMCATサーバーの名前を指定します。

上

WEBSPHERE PORTALユーザーID (WPUSRID)

WebSphere Portal内でSystem i Access for Web構成を除去するために使用するIBM WebSphere Portal管理ユーザーIDを指定します。

WEBSPHERE PORTAL構成に対する変更では、変更を行なうためにユーザーIDの指定が必要です。これは、管理者レベルの機能を実行するためにWEBSPHERE PORTALユーザー・インターフェースへのログインに使用されると同じ管理者レベルのユーザーIDです。

この値は、HTTP接続を使用して暗号化されずにシステムに送信されます。接続を認めることができない場合には、このコマンドは保護されたイントラネット環境内でのみ実行しなければなりません。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターにWebSphere PortalまたはWSEを指定した時には、パラメーター値が必要です。

文字値 管理ユーザーIDを指定します。

上

WEBSPHERE PORTALパスワード (WPPWD)

WPUSRIDパラメーターに指定されたIBM WEBSPHERE PORTAL管理ユーザーIDのパスワードを指定します。

この値は、HTTP接続を使用して暗号化されずにシステムに送信されます。接続を認めることができない場合には、このコマンドは保護されたイントラネット環境内でのみ実行しなければなりません。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターにWebSphere PortalまたはWSEを指定した時には、パラメーター値が必要です。

文字値 IBM WEBSPHERE PORTAL管理ユーザーのパスワードを指定します。

上

WEBSPHERE PORTAL構成URL (WPURL)

WEBSPHERE PORTAL構成サブレットにアクセスするためのUNIVERSAL RESOURCE LOCATOR (URL)を指定します。このサブレットは、WebSphere PortalのSystem i Access for Web構成情報を除去します。

このURLは次の要素により構成されています。

- ポータル・ホスト名。
- WebSphere Portal導入中に指定したポータルの基本universal resource identifier (URI)。**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターがWebSphere Portalのバージョンに設定された場合、省略時値は'/wps'です。**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが*WSEに設定された場合、省略時値は'/lwp'です。
- サブレット拡張子は'/CONFIG'。

この値の例は以下のとおりです。

- 'system_name.your_company.com/wps/config'。
- 'system_name.your_company.com/lwp/config'。

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)パラメーターにWebSphere PortalまたはWSEを指定した時には、パラメーター値が必要です。

文字値 WEBSPHERE PORTAL構成サブレットにアクセスするためのURLを指定します。

上

WEBSPHERE PORTAL省略時ページ (WPDFTPAG)

WebSphere Portal構成からのSystem i Access for Webポートレットの除去時に、CFGACCWEB2コマンドを使用して作成されている省略時WebSphere Portalページを削除することができます。

***DELETE**

CFGACCWEB2コマンドの実行時に作成された省略時System i Access for Webページを削除します。

*NODELETE

CFGACCWEB2コマンドの実行時に作成された省略時System i Access for Webページを削除しません。

上

WebSphere導入ディレクトリー (WASINSDIR)

WebSphere Application Serverのバージョンが、System i Access for Webを実行するように構成されています。このパラメーターは、そのバージョンのWebSphere Application Serverが導入された、i5/OS 統合ファイル・システムのディレクトリーを指定します。

統合ファイル・システムの複数の場所に、より新しいバージョンのWebSphere Application Serverが導入されている場合があります。この値は、どのWebSphere Application Server導入済み環境がSystem i Access for Webを実行するよう構成されたかを、System i Access for Webに指示します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

*DEFAULT

*DEFAULTを指定すると、使用されるパスは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定されている値に基づきます。

- *WAS61BASE - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Base
- *WAS61EXP - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Express
- *WAS61ND - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/ND

パス名 WebSphere Application Serverの導入パスを指定します。

上

WEBSPHEREユーザーID (WASUSRID)

WASINST/WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWEBSPHERE APPLICATION SERVERインスタンス／プロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereインスタンス／プロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WEBSPHERE機密保護がインスタンス／プロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WEBSPHERE PORTALまたはASF TOMCAT環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

上

WEBSPHEREパスワード (WASPWD)

WASINST/WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWEBSPHERE APPLICATION SERVERインスタンス/プロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereインスタンス/プロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WEBSPHERE機密保護がインスタンス/プロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WEBSPHEREユーザーID (WASUSRID)および**WEBSPHEREパスワード (WASPWD)**パラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WEBSPHERE PORTALまたはASF TOMCAT環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDのパスワードを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

上

例

例1: WebSphere Application Server V6.0 for OS/400からの構成の除去

```
RMVACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS60) WASPRF(iwa60)
           APPSVR(iwa60)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server V6.0 for OS/400内のiwa60という名前のユーザー作成WebSphereプロファイルからSystem i Access for Web構成を除去します。

例2: WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OSからの構成の除去

```
RMVACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61EXP) WASPRF(iwa61exp)
           APPSVR(iwa61exp)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS構成内のiwa61expという名前のプロファイルからSystem i Access for Web構成を除去します。

例3: WebSphere Portalからの構成の除去

```
RMVACCWEB2 APPSVRTYPE(*WP60) WASPRF(iwawps60)
           WPUSRID(wpsadmin) WPPWD(wpspassword)
           WPURL('mysystem.mydomain.com/wps/config')
           WPDFTPAG(*DELETE)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server V6.0 for OS/400（基本版）で稼働するWebSphere Portal V6.0からSystem i Access for Web構成を除去します。この例では、WebSphere Portal管理者ユーザーIDおよびパスワード、URLをポータル構成サブレットに入力し、省略時System i Access for Web WebSphere Portalページを削除するコマンドを通知します。

例4: ASF Tomcatからの構成の除去

```
RMVACCWEB2 APPSVRTYPE(*ASFTOMCAT) TCSVRNAME(IWATOMCAT)
```

このコマンドは、System i Access for Web構成をASF Tomcat構成から除去します。

例5: WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OSからの構成の除去

```
RMVACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61ND) WASPRF(iwa61nd)
           APPSVR(iwa61nd)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS内のiwa61ndという名前のユーザー作成WebSphereプロファイルからSystem i Access for Web構成を除去します。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

IAW0004

System i Access for Web除去コマンドが失敗しました。

IAW000B

パラメーターAPPSVRTYPEに指定された値が無効です。

IAW000E

TCSVRNAMEパラメーターが必要です。

IAW0011

WPUSRID, WPPWD,およびWPURLパラメーターは必須です。

上

ACCESS FOR WEBの開始 (STRACCWEB2)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

System i Access for Web開始(STRACCWEB2)コマンドは、Webアプリケーション・サーバーのIBM WebSphere Application Server内でSystem i Access for Web構成を開始するために使用されます。

このコマンドは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドを使用して作成された構成を開始します。

System i Access for Webは、その機能にアクセスする前に、開始されていなければなりません。

コマンドの実行時、どのコマンドを処理中かを示す状況情報が表示されます。また、このコマンドを実行すると、詳細状況情報およびエラー情報がストリーム・ファイル/QIBM/USERDATA/ACCESS/WEB2/LOGS/CMDS.LOGにも記録されます。

また、System i Access for WebはWebアプリケーション・サーバーの管理インターフェースを使用して開始することもできます。

制約事項:

- このコマンドを実行するには、すべてのオブジェクト(*ALLOBJ)特殊権限がなければなりません。
- このコマンドの実行前に、CFGACCWEB2コマンドを使用してSystem i Access for Webを構成しなければなりません。
- このコマンドが使用可能なのは、以下のWEBアプリケーション・サーバーの場合だけです。
 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
 - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
 - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
 - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
 - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS
- WebSphere Application Serverに特定の制約事項:
 - このコマンドを実行するためには、WebSphere Application Serverサブシステムが稼働していなければなりません。WebSphereサブシステムの始動については、WebSphereの資料を参照してください。
 - WebSphereプロファイル内に構成されたアプリケーション・サーバーは、このコマンドを実行する前に稼働させる必要があります。
- System i Access for Web構成を開始するには、次のWebアプリケーション・サーバーの管理インターフェースを使用する必要があります。
 - WebSphere Portal

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
APPSVRTYPE	WEB アプリケーション・サーバー・タイプ	文字値	必須, 定位置 1
WASPRF	WEBサーバー・プロファイル名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
APPSVR	アプリケーション・サーバー名	文字値, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASINSDIR	WebSphere導入ディレクトリー	パス名, <u>*DEFAULT</u>	オプション
WASUSRID	WEBSPHHEREユーザーID	文字値, <u>*NONE</u>	オプション
WASPWD	WEBSPHHEREパスワード	文字値, <u>*NONE</u>	オプション

[トップ](#)

WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)

開始するSystem i Access for Web構成が入っているWebアプリケーション・サーバーを指定します。

これは必須パラメーターです。

*WAS60

WebSphere Application Server V6.0 for OS/400

*WAS60ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400

*WAS61BASE

WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS

*WAS61EXP

WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

*WAS61ND

WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

[トップ](#)

WEBサーバー・プロファイル名 (WASPRF)

開始するSystem i Access for Web構成が入っているIBM WebSphere Application Serverプロファイルを指定します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS

- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、System i Access for Webは'default'と呼ばれるプロファイル内で開始されます。

名前 開始するSystem i Access for Web構成が入っているWebSphereプロファイルの名前を指定します。これは、ACCESS FOR WEBの構成 (CFGACCWEB2)コマンドの実行時に使用されたのと同じプロファイル名です。

トップ

アプリケーション・サーバー名 (APPSVR)

System i Access for Webが構成済みの、開始したい既存のアプリケーション・サーバーを指定します。

WebSphereプロファイルには1つ以上のアプリケーション・サーバーを入れることができます。アプリケーション・サーバーは、配置されたWEBアプリケーションを実行する環境を提供します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWebアプリケーション・サーバーの1つでSystem i Access for Webを開始するために設定される場合だけです。

- *WAS60 - WebSphere Application Server V6.0 for OS/400
- *WAS60ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.0 for OS/400
- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

WASPRFパラメーターに*DEFAULTが設定された場合、この値は'server1'に設定されます。

WASPRFパラメーターに*DEFAULT以外のものが設定された時には、この値は、WASPRFパラメーターに指定された値に設定されます。

名前 System i Access for Webが開始されるWebSphereインスタンス/プロファイル内のアプリケーション・サーバーの名前を指定します。

トップ

WebSphere導入ディレクトリー (WASINSDIR)

WebSphere Application Serverのバージョンが、System i Access for Webを実行するように構成されています。このパラメーターは、そのバージョンのWebSphere Application Serverが導入された、i5/OS 統合ファイル・システムのディレクトリーを指定します。

統合ファイル・システムの複数の場所に、より新しいバージョンのWebSphere Application Serverが導入されている場合があります。この値は、どのWebSphere Application Server導入済み環境がSystem i Access for Webを実行するよう構成されたかを、System i Access for Webに指示します。

このパラメーターが適用されるのは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターが次のWEBアプリケーション・サーバーの1つに設定される場合だけです。

- *WAS61BASE - WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS
- *WAS61EXP - WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS
- *WAS61ND - WebSphere Application Server Network Deployment V6.1 for i5/OS

***DEFAULT**

*DEFAULTを指定すると、使用されるパスは、**WEB アプリケーション・サーバー・タイプ (APPSVRTYPE)**パラメーターに指定されている値に基づきます。

- *WAS61BASE - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Base
- *WAS61EXP - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/Express
- *WAS61ND - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V61/ND

パス名 WebSphere Application Serverの導入パスを指定します。

トップ

WEBSPHEREユーザーID (WASUSRID)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

トップ

WEBSPHEREパスワード (WASPWD)

WASPRFおよびAPPSVRパラメーターに指定されたWebSphere Application Serverプロファイルに使用可能な機密保護がある場合には、このパラメーターが必要です。

このコマンドを実行すると、WebSphereプロファイル構成またはSystem i Access for WebのWebアプリケーションの実行状態を変更することになります。WebSphere機密保護がプロファイルで使用可能となっている場合には、認証情報を変更するため、これらを指定しなければなりません。

WASUSRIDおよびWASPWDパラメーターは、必要な認証情報を提供します。

このパラメーターに指定する値を判別するには、WEBSPHERE管理コンソールの機密保護構成下にある認証メカニズムおよびユーザー・レジストリー設定を参照してください。

このパラメーターは、WebSphere Portal環境には適用されません。

文字値 ユーザーIDのパスワードを指定します。

詳細については、System i InfoCenter情報(<http://www.ibm.com/systems/i/infocenter/>)の「WebSphere機密保護情報」を参照してください。

[トップ](#)

例

例1: WebSphere Application Server V6.0 for OS/400のSystem i Access for Webの開始

```
STRACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS60) WASPRF(iwa60)
           APPSVR(iwa60)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server V6.0 for OS/400内のSystem i Access for Web構成を開始します。この例では、ユーザー作成プロファイルiwa60内の構成が開始されます。

例2: WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OSのSystem i Access for Webの開始

```
STRACCWEB2 APPSVRTYPE(*WAS61EXP) WASPRF(iwa61exp)
           APPSVR(iwa61exp)
```

このコマンドは、WebSphere Application Server - Express V6.1 for i5/OS内のSystem i Access for Web構成を開始します。この例では、ユーザー作成プロファイルiwa61exp内の構成が開始されます。

[トップ](#)

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

IAW0002

System i Access for Web開始コマンドが失敗しました。

IAW000B

パラメーターAPPSVRTYPEに指定された値が無効です。

[トップ](#)

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Software Interoperability Coordinator, Department YBWA
3605 Highway 52 N
Rochester, MN 55901
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プログラミング・インターフェース情報

本書 (System i Access for Web コマンド) には、プログラムを作成するユーザーが IBM System i Access for Web のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

商標

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Advanced Function Printing
AFP
AS/400
CICS
COBOL/400
C/400
DataPropagator
DB2
Distributed Relational Database Architecture
Lotus Domino
DRDA
IBM
Infoprint
InfoWindow
i5/OS
iSeries
Integrated Language Environment
Lotus
LPDA
OfficeVision
Print Services Facility
RPG/400
System i
System x
SystemView
System/36
TCS
Tivoli
WebSphere
z/OS

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

コードに関するライセンス情報および特記事項

IBM は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用権を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM、そのプログラム開発者、および供給者は「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについて賠償責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 直接損害、特別損害、付随的損害、間接損害、または経済上の結果的損害
3. 逸失した利益、ビジネス上の収益、あるいは節約すべかりし費用

国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。



Printed in Japan